

令和 4 年度

「運営に関する計画」

大阪市立田島中学校

令和 4 年 4 月 22 日

大阪市立田島中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

コロナ禍での学校運営3年目となった。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による学校行事や教育内容の変更などを講じながらの2年間であった。「ピンチをチャンスに」をテーマにウィズコロナを見据え、オンライン学習やデジタル教材の活用、授業配信など「学びの保障」へ向けて取組を行った。また、コロナ禍での「安全・安心」の確保のため、日々の消毒や手洗いうがい、黙食の徹底など基本的な感染防止対策を常に啓発し、実行した。その結果、感染拡大を防止することができ、教育活動をほとんど止めることなく学校運営することができた。

大阪府チャレンジテストにおいては、数値目標3項目について、3年生は、すべて達成できなかつたが、2年生は、すべて達成できた。数値結果を分析し、基礎・基本の定着へ向け、さらなる授業改善を行っていきたい。具体的には、「アウトプット活動は、学力の定着に有効である」ことが予想でき、「自分の意見をまとめる・一定の分量を発表する（説明する）・他者の意見を聞き取り自分にフィードバックする」などの活動を授業で取り入れることが大切である。逆に「簡単な内容に多くの時間を費やす・短答で答えられるやり取りが中心（説明する機会が少ない）・課題解決型（探求型）に取り組む経験が少ない」授業では、学力の定着はできないと考える。このことから、授業のレベルをさげることなく、アウトプット活動や試行錯誤する場面を準備するとともに要支援生徒への手立ても準備していくことが、求められる授業デザインであると考え、授業改善を行っていく。

コロナ禍の影響で、G I G Aスクール構想が前倒しされ、1人1台学習者用端末を活用し、生徒が互いに学び合う協働的な学びや、思考力・判断力・表現力の育成につながる授業スタイルが求められている。その中で各教科が必要に応じて1人1台学習者用端末を活用している。各学年においても1人1台学習者用端末を活用し、総合的な学習の時間の取組を行った。具体的には、校外学習で写真を撮影し、その後の壁新聞を班員の共同制作によって作成したり、「平和について考える日」では、戦争が起こった原因を調べ、平和について考え、発表する機会を設けたりした。他にも職業調べでは、資料集めに活用したり、「私の意見」では、各クラスで一人ひとりの発表を実施し意見交換をしたりした。また、欠席している生徒に向けてオンラインで授業の様子を配信し、学びの保障を行った。

小中一貫校が開校し、3つの柱の1つである「性・生教育」においては、年間各学年3時間程度実施した。その中でも昨年度は「文部科学省 学校における生命の安全教育推進事業(委託)」として全市公開授業を行った。また、読売新聞全国版で2年生のデーントDVについて取り上げられるなど取組に対して、評価も受けた。他にも助産師によるティーンズヘルスセミナーを全学年で実施するなど将来をよりよく生きるために知識を学び、自分が幸せに生きるためにどうすればよいかを考え、性の悩みや不適切な行動については、丁寧な対応を行っている。これらの取組を続けている結果、生徒アンケート「自分には良いところある」では昨年度67%から70%と3ポイント上昇した。

小中一貫校が開校し、準備委員会で計画したことを踏まえ、課題を1つ1つ解消しながら、新しい学校を作っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、85%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、85%以上にする。
- 毎年度末の校内調査における不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。
- 毎年度末の校内調査における前年度不登校生徒の改善の割合を、毎年、増加させる。
- 令和7年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、80%以上にする。
- 令和7年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、令和3年度より6%増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」に対して、最も肯定的に答える生徒の割合を、35%以上にする。
- 令和7年度の大都市英語力調査の中学校卒業段階でのC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する生徒の割合を、76%以上にする。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的に答える生徒の割合を50%以上にする。
- 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合の指標として、年度末の校内調査における「(平日)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を令和7年度調査において、85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の校内調査における「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」に対して、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、80%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉校日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。
- 令和7年度末の校内調査における生徒1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和3年度より3冊増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、80%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、80%以上にする。
- 年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、75%以上にする。
- 年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を30%以上にする。
- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を70%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を45%以上にする。

学校園の年度目標

- 規則正しい生活を身に付けている生徒の割合の指標として、年度末の校内調査の「(平日)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を、80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

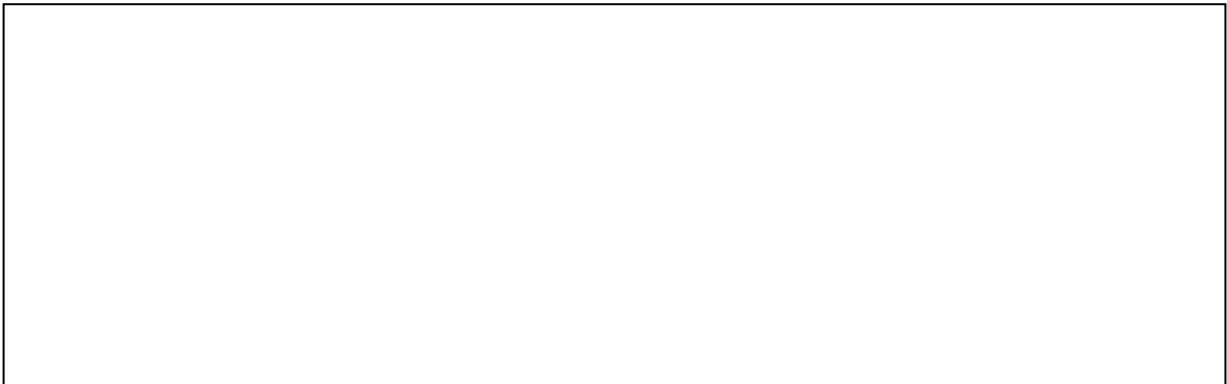
全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、70%以上にする。
- ゆとりの日については、週1回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては1日以上設定する。

学校園の年度目標

- 年度末の校内調査において、生徒1人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和3年度より0.5冊増加させる。

3 本年度の自己評価結果の総括



(様式 2)

大阪市立田島中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○年度末の校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、75%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケート（年3回）および相談申告機能を、1人1台学習者用端末を活用して実施する。 ・ブロック化による学校支援事業で、Q-U テストを実施し、生徒の実態把握を図るとともに、実態に基づいた指導を行う。 ・区役所、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談センター等のいずれかの関係諸機関との連携を週1回以上行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>性と生を考える取組みを推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間各学年1回以上の取組みを実施する。 ・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、出前授業を実施する。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>9年間カリキュラムの目標を「自分らしい生き方を実現するための力を育む」と定めて、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成をする。</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きるチカラまなびサポート事業を活用して、出前授業を実施する。 ・校内調査における「将来の夢や目標がある」と答える生徒の割合を、前年度より増加させる。(前年度 71%) 	
<p>取組内容④【基本的な方向 2、豊かな心の育成】</p> <p>芸術鑑賞を通して、豊かな情操や感性を養う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケートにおいて、鑑賞行事について肯定的に回答する生徒の割合を 90% 以上にする。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

大阪市立田島中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を30%以上にする。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。</p> <p>○大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学生3年生の割合(4技能)を70%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を45%以上にする。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○規則正しい生活を身に付けている生徒の割合の指標として、年度末の校内調査の「(平日)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を、80%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ブロック化による学校支援事業および区の校長戦略支援予算を活用し、英検を全学年で実施する。・ブロック化による学校支援事業を活用し、8年生でリーディングスキルテストを実施する。・漢字検定を希望者で年2回実施する。 <p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 学びサポーター、学校元気アップ地域本部事業を活用し、放課後学習会を実施し、主体的な学びを推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・原則、毎日放課後学習会を実施する。 <p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 小学校高学年の授業に入り、理数教育を推進する。</p> <p>指標</p>	進捗状況

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ブロック化による学校支援事業および区の校長戦略支援予算を活用し、英検を全学年で実施する。・ブロック化による学校支援事業を活用し、8年生でリーディングスキルテストを実施する。・漢字検定を希望者で年2回実施する。 <p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 学びサポーター、学校元気アップ地域本部事業を活用し、放課後学習会を実施し、主体的な学びを推進する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・原則、毎日放課後学習会を実施する。 <p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 小学校高学年の授業に入り、理数教育を推進する。</p> <p>指標</p>	

・数学科から 6 年生算数の授業（週 3 時間）を行い、理科から小学校 5 年生理科の授業（週 3 時間）を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立田島中学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、「ほぼ毎日」と答える生徒の割合を、70%以上にする。</p> <p>○ゆとりの日については、週 1 回以上設定する。また、学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○年度末の校内調査において、生徒 1 人当たりの学校図書館年間貸出冊数を、令和 3 年度より 0.5 冊増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 8、生涯学習の支援】</p> <p>学校図書館を拠点に、学校全体で読書環境の整備・充実を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビブリオバトルを実施する。 ・昼休み、放課後は、毎日図書館開館するとともに、玄関ホールに図書スペースを設ける。 ・ブックトラックを活用して、学級や校内の図書スペースの本の入れ替えを行い、読書に親しむ環境を作る。 ・校内調査における「読書をしている」と答える生徒の割合を、前年度より 5 ポイント以上増加させる。（前年度 43%） 	
<p>取組内容②【基本的な方向 6、教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>1 人 1 台学習者用端末持ち帰りによる家庭学習の推進</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 人 1 台学習者用端末を原則毎日持ち帰らせ、課題や自学自習に取り組む。 ・授業者全員が 1 回以上、Teams を活用して、課題を与える。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

